＜第三種郵便物認可＞

建　通

業界・行政ニュース

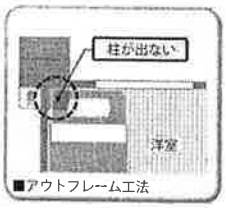
東海圏で初採用

長谷工

マンション企画「Ｂｅ－ＮＥＸＴ」

長谷工コーポレーション（東京都港区芝２ノ32ノ１）は６日、アウトフレーム工法などを盛り込んだ同社のマンション企画「Ｂｅ－ＮＥＸＴ」が東海圏のマンションで初めて採用されたことを発表した。

Ｂｅ－ＮＥＸＴは、住空間の基本性能の充実と可変性、環境、防災などをコンセプトとしたマンションの仕様企画。部屋内に梁や柱型をできるだけ出さないアウトフレーム工法＝図参照＝や、バルコニー側に扁平梁を取り入れた新規格フレームを採用するとともに、水回りを移動可能とするなど高いカスタマイズ性を持たせている。



■アウトフレーム工法

この仕様を取り入れたのは、イワクラゴールデンホームズのアメニティ港明（名古屋市港区）と、マリモのポレスターセントラルシティ名西参番館（名古屋市西区）。両物件とも、すでに長谷工コーポレーションの設計・施工で着工しており、２０１５年２月の完成を予定している。

同社は、今回の採用を機に「積極的に採用提案を進めていく」としている。

大京・三交不動産

販売概要を発表

ライオンズプレイズ南大高

大京（東京都渋谷区）と三交不動産（津市）は５日、共同で名古屋市緑区に建設している環境配慮型の分譲マンション「ライオンズプレイズ南大高」の販売概要を発表した。近日中に同区内でマンションギャラリーを公開。２０１４年１月に案内会を開催し、２月中旬から販売を開始する。

建設地は大高南特定土地区画整理事業地内。ＪＲ南大高駅とイオンモール大高を結ぶペデストリアンデッキの中間に建設する。

設備仕様面では、ライオンズ、プレイズ両シリーズで初めて、国土交通省の「認定低炭素住宅」と経済産業省の「スマートマンション４つ星認定」を取得。高度な断熱性能や省電力・節電設備などを備えるほか、優遇税制や優遇金利が適用される仕様となっている。

外観パース

規模は鉄筋コンクリート造15階建て延べ約１万５６００平方㍍。戸数は３～４ＬＤＫ18タイプで１４１戸を計画している。専有面積は68・62～93・86平方㍍。駐車場は、自走式で１４６台分を整備する。

三商の「サンハイドロックＬ」

ＮＥＴＩＳに登録

三商（本社・名古屋市東区、伊藤満琉社長）は、低温・高温どちらの環境でも施工でき、安定した性能を発揮するコンクリート長寿命化・美観維持用撥水剤「サンハイドロックＬ」＝写真＝を開発し、ＮＥＴＩＳに登録された。登録番号はＣＢ－１３００１５－Ａ。

サンハイドロックシリーズは高い撥水性能と耐候性を併せ持つ撥水剤。コンクリート表面に塗布することで内部に浸透し、強固な撥水層を形成して、コンクリートを保護する。

コンクリートの美観を維持し、塩害・凍害・鉄筋腐食を抑制できるため、コンクリート構造物のライフサイクルコストを低減できる。

新開発のサンハイドロックＬは施工可能気温がマイナス20度以上60度未満で、従来の水系撥水剤では実現できなかった低温環境下での施工が可能であるとともに、高温環境下でも安定した性能を発揮する。

問い合わせ先は電話０５６８（８９）５５０７。

名古屋で新商品説明会

カナフレックス

カナフレックスコーポレーション（本社・大阪市北区と東京都港区）は５日、名古屋市内で新商品説明会を開催した。当日はゼネコンや設計事務所をはじめメーカーや商社など関係者約４５０人が来場し、建材、土木など各部門からの商品に関する説明を聞いた。

金尾茂樹社長＝写真＝は冒頭のあいさつで「今回紹介する商品は会社の総力を挙げて開発した」と力説。「皆さまには商品の特徴を少しでも理解してもらいたい」と述べた。

新商品の一つとして発表された「集排水用ポリエチレン管ＮＥＷカナパイプ」は道路下雨水、廃棄物処理場などの現場で使用できる排水管路で、ボルト締めの必要ないワンタッチ接続による作業省力化や工期の短縮などを実現している。

また、老朽化した下水道管路の中に自立更生管を通すカナスリップ工法の紹介では、管挿入の実演が行われ来場者の注目を集めていた。

日本学術会議がシンポ

「南海トラフにいかに向き合うか」

日本学術会議は２日、「南海トラフ地震に学界はいかに向き合うか」と題したシンポジウムを開いた。中央防災会議が発表した被害想定を踏ま